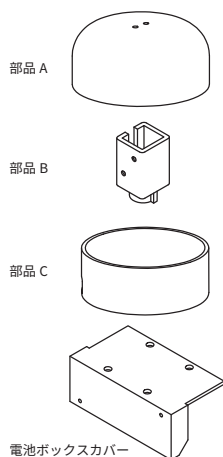


# 小動物モジュールけだまちゃんの説明書

## キット内容

### プラスチックパーツ



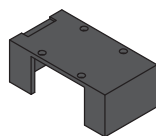
### ソレノイド



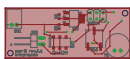
### フェルトパーツ



### 電池ボックス



### 基板



### 金属パーツ



### ねじ・スペーサ

- M3-6 ねじ × 4 (電池ボックス - 部品 C)
- M2-7 ねじ × 2 (部品 A - 金属パーツ)
- M2-5.5 ねじ × 2 (基板 - 電池ボックスカバー)
- M2-2 スペーサ
- M2-3 ねじ × 1 (部品 B - 部品 C)
- M2-3 ねじ × 2 (金属パーツ)
- M1.4-2 ねじ × 2 (部品 B - ソレノイド)

## ご用意いただくもの

### 精密プラスドライバー

006P 型 9V アルカリ電池

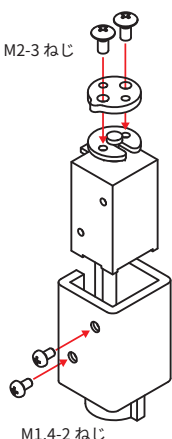
けだまカバー (直径 9cm 程度の布カバー)

## 注意事項

プラスチックパーツのねじ穴は、着脱を繰り返すとゆるくなることがあります。なるべくやり直し回数が少なくなるよう、手順どおり組み立ててください。

## 組立手順

### 1) M2-3 ねじ



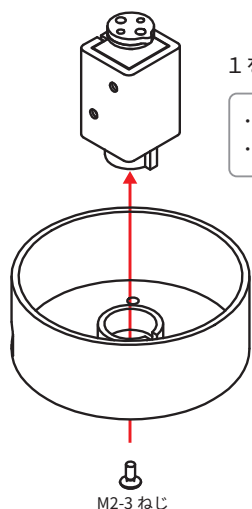
ソレノイドのピン (バネの無い側) を金属パーツで挟み、ネジどめする。

- 下パーツの溝にピンの細い部分を通し、上パーツの凹みにピンをはめ込む
- 上パーツの突起と下パーツの切り欠きが 90 度の位置関係になるように重ねる

ソレノイドを部品 B に奥まではめ込み、ネジどめする。

- ソレノイドと部品 B の穴のある面を合わせる
- ねじ頭が部品 B に埋まるようにしっかり奥までねじ込む

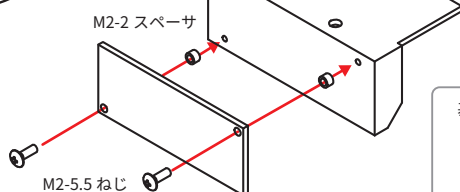
### 2)



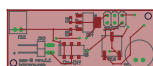
1 を部品 C 中央にさし込み、下からネジ止めする。

- 垂直に固定されるようにしっかり奥までさし込む
- 部品 A をかぶせてみて、上下にスムーズに動かせるかチェックしておく

基板を電池ボックスカバーにスペーサとねじで固定する。



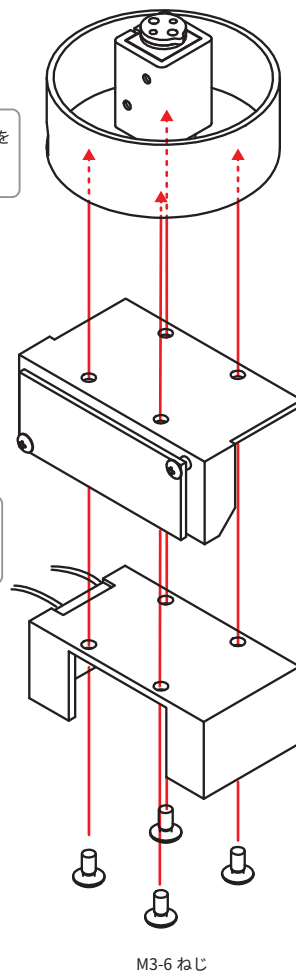
基板の上下向きは図のようにする



### 3)

2 / 電池ボックスカバー / 電池ボックスを合わせてネジ止める

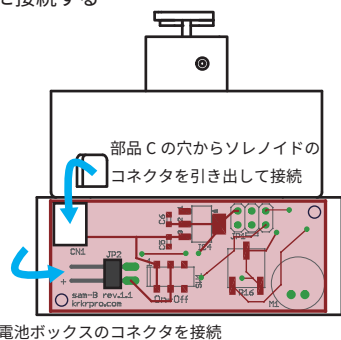
部品 B のネジ止めた側を基板と同じ方向に向ける



電池ボックスはケーブルがこちら側

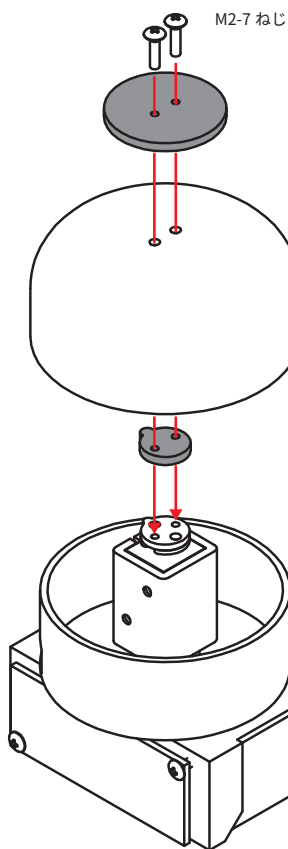
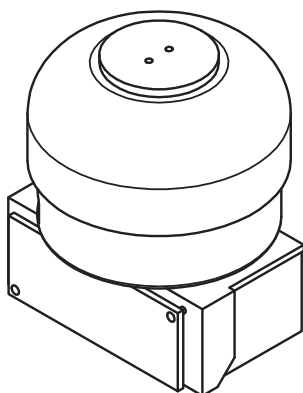
M3-6 ねじ

- 4) ソレノイドのコネクタ、電池ボックスのコネクタを基板に接続する
- 5) 部品 A とフェルトパーツ、金属パーツを合わせてネジ止める。

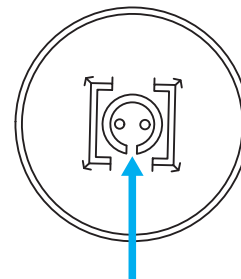


電池ボックスのケーブルは  
赤いケーブルがプラス (+) マーク側 (下側) になるようにさす

完成図 (ネジ・ケーブル非表示)

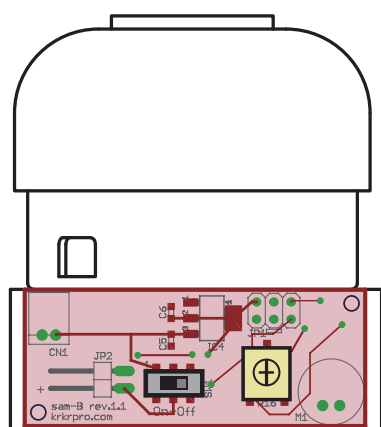


部品 A を下から見た図



- ・ この切り欠きのある方をソレノイドのケーブルが出ている側にして重ねる
- ・ フェルトパーツ小、金属パーツの突起をこの切り欠きに合わせて重ねる

操作方法

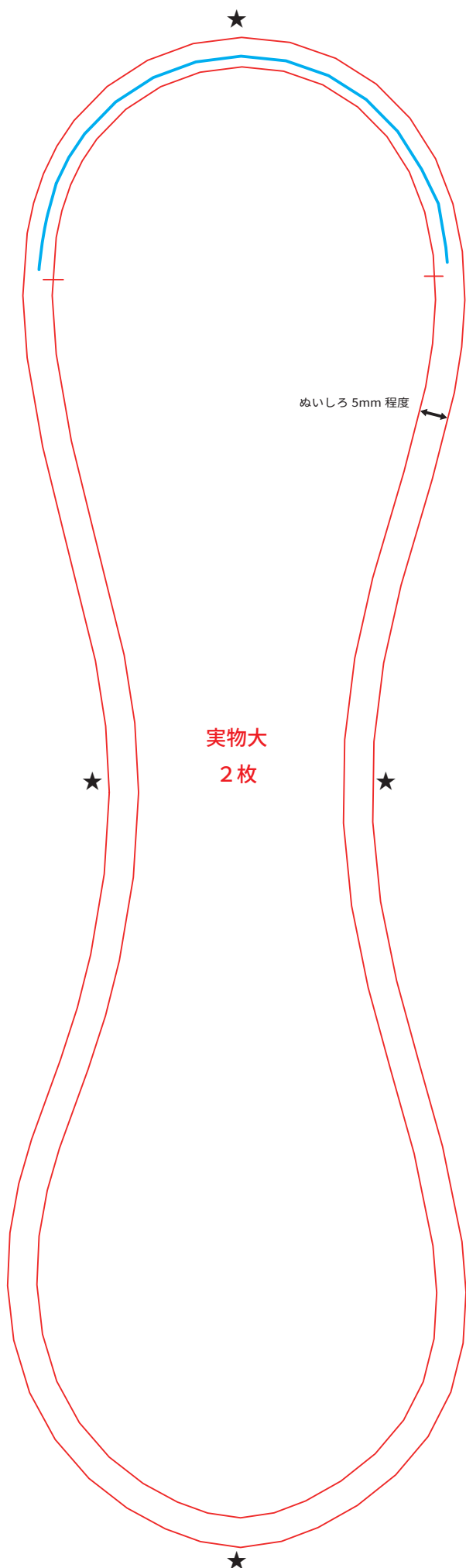


ON/OFF スイッチ

マイクボリューム

- (1) スイッチが OFF 側になっていることを確認して、電池を入れる
- (2) けだまカバーをかぶせる
- (3) スイッチを入れる
- (4) けだまカバーをとじる

必要に応じてマイクボリュームで感度を調整してください。  
時計回りにまわすと感度が上がります (小さい音にも反応する)。



## けだまカバー型紙（参考）

この型紙と作り方は毛玉カバーの一例であり、直径 9cm 程度の  
まるっこいものが入るカバーであればなんでも OK です。

ご用意いただくもの

布（毛足長めかつやわらかい生地推奨）  
ベルクロ（100～150mm x 5mm 程度）

- (1) 水色のラインの辺りの表側にベルクロの片側を縫い付ける (1 枚のみ)
- (2) 凸側の中心と凹側の中心（★）が互いに合うように中表に重ね、  
ベルクロ部分を残して縫う。
- (3) ベルクロのもう片側を、縫い残っている凹側の裏側に縫い付けて完成！